



土崎みなと歴史伝承館

伝承館だより

第5号



土崎婦人会会長保坂せい子さん・塩谷カヨ子さん（前列左から二人目と三人目）と受講者のみなさん



おいしそうなカスベの煮つけが出来上がりました

8月6日（金）土崎港曳山まつりには欠かせない「カスベの煮つけ」の講習会が、土崎婦人会の保坂せい子会長、塩谷カヨ子さんを講師としてキタス力調理室で開催されました。

近年、高齢化や核家族化などによりお祭りの際も作る人が減ってきており、お祭りの伝統食文化も影が薄くなってきていることから、婦人会が一斉発起。

当日は、参加者のみなさんが和気あいあいと楽しみながらそれぞれの味の「カスベの煮つけ」を作りました。



伝承館への思い



港商友会
会長 後藤 珠里

今年3月で3周年を迎えられました土崎みなと歴史伝承館には以前に開館に向けてのワークショップより関わらせていただいた事もあり、私にとっても思い入れや、今後の将来にむけてとても希望や楽しみがある場所でもありました。

去年は、その伝承館の街づくり協議会による事業のひとつ『ジョヤサが聞こえない街』の映像制作にも携わらせて頂きました。

その事業を通じてこの土崎の歴史や伝統を教えて頂き、沢山の街の方々の温かさにも触れることとなり、もっとこの街が好きになりました。

また長い時間伝承館に滞在することで普段気が付かなかったこの伝承館のもつ魅力にも気付くことが出来ました。

今、このような時代にありますが、様々な魅力と歴史伝統を発信していけるこの場所で、今月に行われる予定の『土崎みなと歴史伝承館子どもまつり』においてもコロナウイルス感染症と安全対策をしっかりと行い、ご来場の方々や子供達が楽しめる1日になれるよう精一杯努力したいと思います。

このような行事や、事業等この街の歴史の1ページに関われることを心より感謝いたしますと共に、今後もこの土崎みなと歴史伝承館が地域の皆様にとっても歴史を学び愛される場所になりますよう、私たち港商友会も微力ながらお手伝いさせて頂きたいと考えていますので、よろしくお願い致します。

港商友会 第58代会長 後藤 珠里

語り継ぐー土崎空襲



土崎港被爆市民会議
会長 伊藤 紀久夫

1945年8月14日、土崎に住む人にとって忘れてはならない日、日本最後の空襲を受けた日である。それは、夏の夜空から米軍爆撃機 B29 が現れ、雨あられのように爆弾の雨を降らせて始まった。攻撃目標の日本石油秋田製油所の構内は吹き飛ばされ、引火した油の猛火で灼熱地獄と化し、熱風の中を逃げ惑い、爆弾が直撃、飛び交う破片に傷つき、従業員や社宅の家族、工場を守る兵士、一般市民も巻き込み 250 名以上の尊い命が一瞬にして奪われた。

76 年目を迎えた今年も市民のみなさんが一同に集い犠牲者を悼み、平和への願いをあらたに誓い合うことが出来た。コロナ禍の中、小、中、高校生や大学生、婦人サークルなどから土崎空襲、戦争や平和についての講演依頼があった。

土崎みなと歴史伝承館階段教室での講話会では、焼けただれた倉庫の傷跡、不発爆弾、破片、被災遺品の学童服の実物を見て、触り、空襲や戦争の怖さをそれぞれに感じ、命の大切さ、普通の暮らしを奪う戦争というものを想像する。

アンケートには土崎空襲から日本の行った戦争の歴史をたどり、悲惨な被害だけでなく、加害の事実も学び「なぜ、何のためにこんな戦争が始まったのか」「土崎空襲が本当に日本最後の空襲であって欲しい、二度と戦争をしてはいけない」「今日学習したことを次の人に伝え受け継ぐことが大切、私たちに何ができるか」などの感想が述べられている。

このような熱い思いにいつも励まされ、これからも土崎みなと歴史伝承館を拠点に平和への願いを求め活動が続けていきたいと思っている。

土崎港被爆市民会議 会長 伊藤 紀久夫

伝承館 令和3年度上半期 リポート

依然として新型コロナの感染状況が改善しないまま令和3年度になりましたが、対処の仕方も学習してまいりました。感染対策を万全にしながら行った上半期の催し物などを紹介します。

◆港ばやし保存会の定期演奏と土崎港伝統芸能伝承会、港伝承絆会の芸能披露を再開

去年は、新型コロナ感染拡大防止のためすべて中止となりましたが、この4月から感染状況を見ながら再開しました。

その後、県の警戒レベルが引き上げられたことにより三たび中止を余儀なくされましたが、今後も状況を見ながら適宜披露する予定です。乞うご期待ください。



◆令和3年度見返しコンクール入選作品の展示

今年もお祭りは中止となりましたが、土崎港曳山会が実施した個人を対象とした見返しコンクールに141作品の応募があり、その中から選ばれた30作品を展示しました。展示初日には最優秀賞、優秀賞を投稿した三名の表彰式を行いました。(7月15日～)



◆唄でつづる土崎みなと

今年から民謡を披露する機会を設けました。地元の民謡歌手藤原美幸さんを中心として毎月第一日曜日にコロナ感染状況を勘案しながら実施しております。(5月～)



◆土崎空襲展

戦争時の遺品や写真、関連する書籍や資料を展示。期間中の8月22日(日)には「講演会&上映会」を開催し、空襲の惨劇を伝えました。(8月1日～30日)



◆小学生見返し大会

土崎小、港北小、土崎南小3校の6年生のみなさんによる見返しを展示しました。
(7月21日～8月15日)

◆ガンギエイの乾燥標本の展示

男鹿水族館 GAO のご協力により、かすべ煮のレシピや乾燥標本を展示しました。
(7月7日～9月1日)

◆「史談」誌展の開催

昭和17年発足の土崎史談会の会報「史談」第1号から第50号までの展示。併せて解体した穀保町土蔵のパネル展示とDVD放映。往時の姿を画像と映像でお見せしました。
(9月1日～10月3日)



平成31年に港商友会が植樹した百日紅の花が咲き誇りました。



伝承館入り口に朝顔のツリーを作り、毎日花を咲かせました。

◆その他の催し物

上記のほか、伝承館を会場として次の催し物が開催されました。

【原爆・土崎空襲資料展】

7月14日～28日 主催：秋田市

【北前船ワークショップ】

7月22・26・28日

主催：秋田港海の祭典実行委員会

【平和活動学習会】

8月4日 主催：コープあきた



原爆・土崎空襲資料展



北前船ワークショップ



平和活動学習会

（仮称）土崎みなと・昔なつかし写真展

お宅にある写真大募集

伝承館では、土崎港に関連したお宅にある「なつかしい」写真を募集しております。

- 1 募集写真 土崎港に関連ある文化・風景など昭和以前に撮影された懐かしい写真ジャンル、大きさは問いませんが、複製・展示されることを承諾していただける写真。当館で複製後お返しいたします。
- 2 募集期間 令和3年10月31日（日）まで（集まり具合により延長あり）
- 3 その他 写真提供者の住所、氏名、連絡先、撮影場所、撮影年月日（おおよそでも可）、写真の説明や思い出等がありましたら100字以内に添えて、下記伝承館へお届けください。（持参・郵送どちらでも可）

【伝承館に咲いた朝顔】



令和3年10月発行 秋田市土崎みなと歴史伝承館 指定管理者：土崎みなと街づくり協議会
〒011-0945 秋田市土崎港西三丁目10-27 TEL 018-838-4244 HP: <https://tuchizaki.com/>

【あとがき】 二年連続でお祭りのない夏を過ごしてしまった。このむなしさは今後二度と経験することはないと願いたい。しかし、考えようによっては貴重な経験？物事みんなポジティブに考えることができればいいのだが…。さあ、来年にむけて、鬼が笑ってもいいから準備しよう。（責：み）